

食品安全文化の可視化に関する研究会 開催要領

1 趣旨・目的

平成 19 年から平成 20 年ごろの食品業界では、食品表示の偽装等の不祥事が頻発し、食品業界全体に対する消費者の信頼を揺るがしかねない状況となった。法令遵守に向けた対応や、消費者の信頼を確保し、向上させていく取組は、基本的には各食品事業者自身の責務において取り組むべき性質であるが食品事業者団体等による業界を挙げての積極的な推進と支援も重要である。

しかしながら、食品業界のほとんどを占める中小食品事業者から、ノウハウや人材の不足や、実際の対応がよく分からないとの声も多い。

これを受け、農林水産省は、平成 20 年 3 月に、各食品事業者における実際の取組の方向を示すことが重要とし、「食品業界の信頼性向上自主行動計画」策定の手引き～5つの基本原則～（以下「5つの基本原則」という。）を策定し、F C P（フード・コミュニケーション・プロジェクト）活動を通じて普及とフォローアップを行ってきた。一方、各食品事業者において世代交代が進んでいる中、食品安全等に関する理解を深め、同時に食品事故等へのリスクマネジメントや危機管理に対処し、食品業界全体に対する消費者の信頼のさらなる向上を継続させるため、5つの基本原則に基づく取組に加え、食品事業者が食品安全をそれぞれの企業文化として醸成していくことの必要性が指摘されている。

これらを踏まえ、F C Pにおいて、「食品安全への考え方・行動に影響を及ぼし、組織内で共有された価値観・信念・規範」（以下「食品安全文化」という。）を可視化するツールを作成し、食品事業者が食品安全について求める姿を企業文化とするための研究の場として、「食品安全文化の可視化に関する研究会」（以下「研究会」という。）を開催するものとする。

2 研究会の招集

研究会は、F C P事務局長（農林水産省大臣官房新事業・食品産業部食品製造課原材料調達・品質管理改善室長）が招集する。

3 構成員等

- （1）研究会の構成員は、公募等によって参加を希望したF C Pネットワーク参加登録企業・団体とする。詳細は、別紙のとおり。
- （2）F C P事務局長は、構成員のほか、必要に応じて構成員以外の者の出席を求め、意見の表明や説明を求めることができる。
- （3）研究会は、必要に応じてワーキンググループを置くことができる。

4 運営

- (1) 研究会は、原則として非公開とする。
- (2) 配付資料は、公表する。また、議論要旨は、開催後、構成員等の確認を経た上で公開する。公表の方法は、農林水産省のホームページに掲載する方法とする。ただし、構成員その他の出席者からの提出資料であって当該者が非公開を希望したもの又は研究会において非公開とすることが適当であると認めるものについては、この限りでない。
- (3) 構成員は、当該会議で得られた情報を利用できるが、その情報の発言者やその他の参加者の身元および所属に関して秘匿する義務を負う。
- (4) ワーキンググループの公開等については、研究会に準ずる。
- (5) 研究会の事務局は、F C P事務局（農林水産省大臣官房新事業・食品産業部食品製造課原材料調達・品質管理改善室企業行動推進班）において行う。
- (6) この要領に定めるもののほか、研究会及びワーキンググループの運営に必要な事項は、F C P事務局長が定める。
- (7) 研究内容は、監修を務める大学と共有することができる。ただし、個人情報や研究会参加企業の利益を毀損する恐れのある情報はこれに含まない。
- (8) 研究会で作成した最終成果物は、F C P事務局において、自由に使用できるツールとして公に公開する。

(別紙)

食品安全文化の可視化に関する研究会 構成員名簿

【構成員の所属する企業等：23 法人、24 名】

＜研究者＞ツールの研究を実施

- ・イオン（株）
- ・オレンジベイフーズ（株）
- ・カゴメ（株）
- ・国分グループ本社（株）
- ・（株）シジシージャパン
- ・スターバックスコーヒージャパン（株）
- ・（株）セブン-イレブン・ジャパン
- ・テーブルマーク（株）
- ・（大）東京海洋大学学術研究院
- ・（株）日本アクセス
- ・（株）ニッセーデリカ
- ・（株）ニッポン
- ・日本ハム（株）
- ・日本マクドナルド（株）
- ・ハウス食品グループ本社（株）
- ・フードリンク（株）
- ・三菱食品（株）
- ・（株）ローソン
- ・わらべや日洋ホールディングス（株）

＜監修者＞研究者へのアドバイスを実施

- ・（学）相模女子大学
- ・（一財）食品安全マネジメント協会
- ・（大）東京海洋大学学術研究院
- ・（学）日本大学大学院
- ・Wismettac フーズ（株）

(五十音順、敬称略)